

学校教育目標		今年度の重点目標		達成状況と達成度				
1 進級の気性に富み、豊かな心と健やかな身体を持った人間を育成する。 2 真理を深く追求し、豊かな創造力と力強い実践力を持った人間を育成する。 3 国際的な視野を持ち、地域の産業や文化を理解するとともに、その将来を担う人間を育成する。		① ICTの活用と、主体的・対話的で深い学びの推進により、思考力・判断力・表現力の育成を図る。 ② 実社会との関わりの中から課題を見出し、教科横断的・協働的に行う探究活動を通じて、汎用的な学力を伸ばす。 ③ 地域の課題と国際的な課題を関連付けて考察し、幅広い視野の育成を図る。 ④ クラブや学校行事などの充実を図り、より良い人間関係を構築し、自主的・実践的な態度を育てる。 ⑤ 多様な他者を受け入れ、互いを尊重する豊かな心を育み、いじめのない安心安全な学校づくりを目指す。		100%:A 80%:B 50%:C 30%:D 20%未満:E				
① ICTの活用と、主体的・対話的で深い学びの推進により、思考力・判断力・表現力の育成を図る。		具体的目標	評価項目	評価項目達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	評価	感想・意見・質問など
		【1学年】・生徒の学校生活や学習活動の基礎作り情報機器も活用し、3年間の高校生活の方向性を明確にする。 【3学年】・生徒の学習活動や進路活動等を中心とした、学校生活の効率化を図るため、情報機器を効果的に活用する。 【進路】・ICTを用いて進路情報を随時提供するとともに、生徒や保護者の意見をリアルタイムで聞くという双方向活用を推進する。 ・各調査の集計や、学力分析に役立てる。 ・入学願書申込時のWEB活用で生徒が不自由のないように、ハード・ソフトとも充実させる。 【図書館】・ICTを用いて図書情報を随時提供する。 ・ICTを活用する授業の場を提供する。 【海外】・ICT機器の増設と維持を確実に行う。 【国語】・ICTを活用し、双方向的な授業の構築を図る。 【社会】・動画や映像、地図や実物投影など資料の見せ方に加えて、より深く考えさせる手段としてICT機器を活用する。 【数学】・ICTの活用。 【理科】・講義や実験の場面において、ICT機器の活用により映像を用いてより効果的、効率的な説明を行い、生徒一人一人に思考・判断・表現の機会を与える。 【美術】・ICT機器を活用し、授業説明や事前の調べ学習にICTを用いて説明し生徒の制作への関心や技能の向上を図る。 【書道】・ICT機器を活用し授業解説を行うことで、生徒の技術向上を図る。 ・生徒同士でICT機器を使用させることで、技術の習熟、定着を目指す。 【音楽】・ICTを利用した授業をする。 【英語】・ICT機器の授業での使用について情報交換をしながら研究を進める。 【家庭】・講義や実習の説明でICTを活用する。	【1学年】・生徒への支援、指導に有効活用できたか。 【3学年】・ホームルーム等で生徒への支援・指導に活用できたか。 【進路】・内容や頻度等に関して、アンケート調査等で評価。 【図書館】・ICTを用いて、的確に魅力的で有効な図書情報を提供することができたか。 【海外】・ICT機器の増設と維持を確実に行ったか。 【国語】・ICTを活用し、双方向的な授業の構築を図る。 【社会】・動画や映像、地図や実物投影など資料の見せ方に加えて、より深く考えさせる手段としてICT機器を活用する。 【数学】・ICTの活用。 【理科】・ICTを活用し、効果的効率的な授業展開ができたか。 ・ICTを活用することにより、生徒により思考、判断、表現の機会を与えることができたか。 【美術】・ICT機器を利用して生徒の課題理解ができていたか、また技能は向上したか。 【書道】・ICT機器を適切に、効果的に活用することができたか。 ・生徒の技術向上につながったか。 【音楽】・動画、スライド等を作成し授業に生かすことができたか。 【英語】・ICTの使用について教科の特性に応じた使用方法の研究をすすめることができたか。 【家庭】・動画、スライド等を使うことで、視覚的に効果的な授業ができたか。	授業時や家庭学習用にある程度活用することができた。 進路ガイダンス時に、リモートで講演会を実施するなど、進路指導を中心に有効活用することができた。 校内情報や入試情報の提供、双方向活用はこれから期待。民間業者資料の活用。受験報告書の閲覧は特に有効。 検索・出願用パソコンの更新カラープリンターの導入 情報センターとして機能した。 今年度予算は承認され6月に機器の設置ができた。今は年度毎に承認を得ていく必要があるが、道筋は付けられた。 授業への計画的な導入ができた。 長期休校への対応もありICTの活用度合いが高まった。その中で効果的な活用のあり方を個々に検証。 デジタル教科書の利用が広がり、授業進度が遅くなっている。 頻繁に有効に活用できた。 授業動画の配信も有効に実施した。 ICTを活用した説明や事前学習で多くの生徒が課題理解ができた。 ICTにより、リアルタイムでの技術指導及び説明により大半の生徒が適切に課題への取り組みが行えた。 教科書の教材の動画を作成し授業に用いた。これまでも書籍していたものをパソコンと大画面モニタに置き換えた。 ICTを利用した授業を見合ったり、情報交換をしたりした。スマートフォンを利用した生徒によるプレゼンテーションの方法を検討した。 1,2年生はスライドを作成し視覚的に効果的な授業ができた。3年も含めて動画の視聴で理解が深まった。	B B B A B B AB A A B A A	活用場面をより具体的に計画する。 新しい方式の導入。 さらなる施設の実装。 コロナが完全に収束しない状況が続いている場合の地区PTAのあり方。地区顧問職員の選出方法の見直し。 引き続きICTの効果的な利用のあり方について検証していく。 板書がなくなると時間的な余裕が生まれたが、早く進みすぎることがデメリットにもなる。ICTの効果的な活用について、更に研究・検証する必要がある。 機器を取り外し、移動することによる故障時の対応 事前学習としての使用だけでなくICT機器を利用した授業内容の検討。また説明での効果的なICT利用を考えていく。 教材によっては画面が見にくい等の意見があるため、写り方を研究していきたい。 授業時に機器の操作でもたつくことがあったので改善したい。内容の充実をはかりたい。 授業時にICT機器の活用を検討していく。 3年生でもスライドを作成していきたい。	A	・ICTの活用・タブレット導入での授業内容へ期待します。 ・BYODによる1人1台端末をどのような形で実施するか今後検討がされていくと思いますが、タブレット端末を廃止する場合は、教材費・模試・行事関連費の見直しは必須かと思えます。 ・「これまで通り」の意識ではなく、変革の時期に来ているという意識を職員間で共有できればと思います。 ・個人的にはハード面は整ってきているような気がしていますが、ソフト面ではなかなかついていけない所があり、研修を深めたい。 ・進学、就職共に細かく指導していただいた。 ・各教科、コロナ休業中のオンライン授業ができた。 ・電子黒板の字が見えにくい生徒が多いなどのことで、黒板も使いたくなくやっていたり、書き方を研究していきたい。 ・教員が電子黒板が設置されて、教員側が使用する場面ではやりやすい、多くの先生が使用している。今後の生徒1人1台のPCを授業でどのように使っていくかは見直しが必要だ。
② 実社会との関わりの中から課題を見出し、教科横断的・協働的に行う探究活動を通じて、汎用的な学力を伸ばす。		具体的目標	評価項目	評価項目達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	評価	感想・意見・質問など
		【1学年】・主にアジア運動について、SDGに沿った観点から改善点、改良点を発見させる。 【2学年】・個別に設定した課題に沿って調査・考察したものを、多くの人に伝わりやすい形を考え発表させる。 【3学年】・生徒一人ひとりが、社会との関わりを意識した進路目標を設定し、その実現に向けた取り組みを支援する。 【学習指導】・総合的探究の時間の「課題研究」を通し、生徒が実社会との関わりにおける課題に気づき、その問題の本質を考え、解決方法の検討、検証に取り組む機会をもちその活動を支援する。 ・課題に向き合いその解決・報告等の活動を支援できたか。	【1学年】・テーマ設定から発表に至るまでの効果的な支援が行えたか。 【2学年】・独自の評価に基づいて評価を行うことができたか。 ・評価の方法は生徒の力を正しく評価できるものであったか。 【3学年】・学校生活に関するアンケートを実施し、その結果に基づいて評価を行う。 【学習指導】・生徒が社会との関わりにおいて自分の周囲にある課題に目を向ける学習機会をもち、指導できたか。 ・課題に向き合いその解決・報告等の活動を支援できたか。	大曜日7時間の探究の時間に十分な時間を割くことで、効果的に支援を行うことができた。 年度末の予定の変更で生徒には迷惑をかけてしまった。限られた時間の中で発表の時間・機会が設けられなかったのが残念であった。 コロナ入試改革変更の影響により、進路活動が計画的に実施することが困難であったが、進学・就職ともに、個々の生徒の希望に沿った取り組みを行うことができた。 コロナ禍における影響を受けながらも実施可能な範囲で有効な学習活動を実施した。 ALTの授業や教科書に取り上げられた題材を通して世界の様々な課題に触れさせることは出来たが、十分な情報量はなかった。 長野県の課題に取り組むコンテストに応募するなど、問題解決能力を高める取り組みを行った。	A A B B	来年度も細やかな計画を立てて臨みたい。 ICT機器やWi-Fi環境の整備が学校側の課題であろう。 授業計画の早期立案と周知を行いたい。	A	・普通科の探究は課題があると感じた。 ・普通科のレポートの基準が担当のところにでも欲しい。 ・グループの場合、1つのものを共有して、本当にそれだけの分量でいいか、教員側から見て、教員側が使用する場面ではやりやすい、多くの先生が使用している。今後の生徒1人1台のPCを授業でどのように使っていくかは見直しが必要だ。
③ 地域の課題と国際的な課題を関連付けて考察し、幅広い視野の育成を図る。		具体的目標	評価項目	評価項目達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	評価	感想・意見・質問など
		【1学年】・主にアジア運動への参加を通して、地域の産業と世界の動向を関連付けて考察し、自分たちができることを考えさせる。 【2学年】・アジア運動等への参加を通して、地域の課題や国際的な課題について自分たちができることを考えさせる。 【学習指導】・総合的探究の時間の「課題研究」を通し、生徒が課題に気づき、その問題の本質を考え、解決方法の検討、検証に取り組む機会をもちその活動を支援する。 【英語】・英語学習が地域の課題や国際的な課題を理解するためのツールとなるよう配慮する。 ・ALTと連携した授業により、身近な「グローバル」を体感させながら英語の各技能の向上を図る。 【商業・情報】・地域などの様々な課題を、生徒が主体的に仲間と協力しながら解決し、その発想を地域に活かすことで、社会への参画意識を高める。	【1学年】・生徒が多角的な視点から意図的に取り組めるような支援を行うことができたか。 【2学年】・生徒が安心して意図的に取り組めるような支援が行えたか。 【学習指導】・生徒が地域社会や国際社会と自分との関わりを目的とする教育機会をもち、指導できたか。 ・課題に向き合いその解決・報告等の活動を支援できたか。 【英語】・地域の課題と国際的な課題の関わりを生徒個々に理解させることができたか。 【商業・情報】・生徒が主体的に課題に取り組む、解決策を発想することができたか。	大曜日7時間探究の時間に十分な時間を割いて支援することができた。 新型コロナウイルスの影響で校内に限定されたために支援する機会が少なくなってしまった。 コロナ禍における影響を受けながらも実施可能な範囲で有効な学習活動を実施した。 ALTの授業や教科書に取り上げられた題材を通して世界の様々な課題に触れさせることは出来たが、十分な情報量はなかった。 長野県の課題に取り組むコンテストに応募するなど、問題解決能力を高める取り組みを行った。	B B B B	コロナ禍にも十分に対応可能な柔軟性のある授業計画を立てたい。 生徒の活動の支援体制を整えるとともに、地域や国際的な課題についても情報提供したり、調べさせたりする必要がある。 授業計画の早期立案と周知を行いたい。 地域や世界の課題を日頃から少しずつ取り上げていく必要がある。 コロナ禍の影響で時間が足りなかったため、探究的な活動を授業の中で取り組む時間を増やしていく。	B	・2学年探究で十分な指導ができなかった。やり方を考えたい。 ・普通科が探究活動を行ったことはよかった。 ・2学年は、切実な見解をもち、ギリギリに詰め込みになってしまっている。こまめにチェックする体制をつくってほしい。
④ クラブや学校行事などの充実を図り、より良い人間関係を構築し、自主的・実践的な態度を育てる。		具体的目標	評価項目	評価項目達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	評価	感想・意見・質問など
		【1学年】・学校行事を尊重しながら、他者と主体的、協働的に学ぶ姿勢を育む。 【2学年】・学校行事に積極的に参加しながら、他者と主体的、協働的に学ぶ姿勢を育む。 【3学年】・学校行事や生徒会活動・クラブ活動等において自主的にその中心となって活動できるように支援する。 【教務】・学校行事などをできるだけタイムリーに、Webページや情報配信システムを利用して外部や保護者に発信する。 【生徒会】・クラブ・委員会・文化祭係活動を通じて、他者への理解を深め、主体的に活動できる生徒を育てる。 【保健】・自他を大切にし、主体的に安心・安全・健康的な生活を送ることが出来る生徒を育てる。 【清掃】・生徒ひとりひとりが環境への理解を深め、公共物を大切に、日々の清掃を積極的に取り組むことを育てる。 【図書館】・読書週間などの行事を通して、知識・教養を深め、人間形成、よりよい人間関係の構築を図る。	【1学年】・生徒同士がコミュニケーションを図りながら、自主的に決定し、活動できるような場面設定と支援ができたか。 【2学年】・生徒同士がコミュニケーションを図りながら自主的に決定し活動できるような場面設定と支援ができたか。 【3学年】・学校生活に関するアンケートを実施し、その結果に基づいて評価を行う。 【教務】・Webページの更新や情報配信システムによる配信を増やすことができたか。 【生徒会】・生徒会活動を通じて課題を発見し、その解決に向けて共同的な取り組みができたか。 【保健】・保健計画に沿って毎月生徒の気づきに適切な助言・支援が出されたか。 【清掃】・ごみの分別がしっかりとできているか。清掃時間中に生徒同士の協力を支援できたか。 【図書館】・各図書館行事の計画・運営を生徒自身が主体的にできるように、助言、支援することができたか。	コロナ禍にあつて、活動が大幅に制限されたり、行事を中止にしたりしたが、学年行事等を認定することで生徒が主体的に活動する場を確保した。 多くの行事が中止されたために機会が少なくなったが、学年行事で生徒が主体的に活動できる場面を設けた。 コロナの影響で、活動が自粛・縮小される中でも、工夫し活動の場を提供することができた。 コロナ関連の情報提供のほか、定期的に学校の取組を紹介した。 Webページ更新回数(1月31日現在) R2 40回 (R1 22回 H30 18回) 情報配信(1月31日現在) R2 37回 R1 34回 H30 32回 コロナウイルス感染対策を行い密着に話し合い諸行事を開催できた。 コロナ感染症拡大防止の影響はめがめがないが、生徒達は日常を取り戻しつつある。 ごみの分別は今一歩というところだった。生徒同士の協力支援はますます重要だと考える。 コロナ禍の下、様々な制約がある中、出来る範囲で工夫して行うことが出来た。読書週間に新たに朝読書を設定したが、図書委員によるクラス文庫の設置などの効果もあり、極めて好評であった。	B A B A A B B A	クラスや学年で生徒自身が協力して主体的に活動する機会をできるだけ確保する。 クラスや学年でルーム長や委員などリーダーシップをとれる生徒を核にして自主的に活動できる場面を設ける。 来年度はさらに他の係や学年などと連携を図り、タイムリーな更新・配信を目指す。 コロナ禍でも特別活動の時間を確保していきたい。 引き続き思春期多感な年代の生徒との関係作りを大事に育んでいきたい。 引き続き、ごみの分別、生徒同士の協力を呼びかけたい。 文化センターとしての図書館機能の充実。コロナ禍の下での読書週間の企画の開催。朝読書の継続。	B	・1学年では行事がなかなかできず、残念であった。 ・コロナ禍の中、できる行事はやっていったと感じた。 ・各部署が最後まで取り組める活動ができた。 ・コロナで休校の期間も、わかりやすく情報が配信されていたよかった。 ・職員もゴミの分別ができていないところもあるので、気を付けよう。 ・コロナ禍の行事運営は、大変だったと思う。今年度の動きをいかした運営に期待します。 ・校内、学校周辺の落ち葉拾いをお願いしたい。
⑤ 多様な他者を受け入れ、互いを尊重する豊かな心を育み、いじめのない安心安全な学校づくりを目指す。		具体的目標	評価項目	評価項目達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	評価	感想・意見・質問など
		【1学年】・ICT機器の正しい使い方を指導し、他者を思いやりながら情報を発信したり、情報を俯瞰したりできる心の豊かさを育成する。 【2学年】・思いやりをもって他者と関わり情報を発信したりできる心の豊かさを育成する。 【3学年】・異なる進路目標を持つ他者を尊重しながら、それぞれの進路実現に向けて、互いに励まし合う集団形成と環境作りを行う。 【生徒指導】・生徒の状況をきめ細やかに把握して対処する。また、教育相談係と連携して生徒の状況把握を深めるとともに、生徒の人権意識の向上を図る。 【保健】・開放的な保健室運営をする。 【体育】・実技を通して仲間を思いやる気持ちをもつ。 【英語】・ALTや教材を通して国内外の人々の様々な生き方、生活、文化に触れさせる。 【いじめ防止】・いじめの無い、安心安全な学校生活を通せるよう、相談窓口の周知を行い相談しやすい環境づくりを進めるとともに、情報収集と、関係部署との連携した対応を行う。 【教育サポート】・不登校や特別支援への理解を深めるために職員研修を実施する。	【1学年】・日頃から生徒同士が認め合い支え合う場面をつくり、指導することができたか。 【2学年】・日頃から生徒同士が認め合い支え合う場面づくりと個々の生徒への目配りができたか。 【3学年】・学校生活に関するアンケートを実施し、その結果に基づいて評価を行う。 【生徒指導】・学校生活アンケートや学級担任による個人面談を実施して生徒の状況を把握することができたか。 【保健】・心身の健康課題の早期発見、早期対応、寄り添いが出来たか。 【体育】・お互いに声を掛け合いながらチーム分けなど出来たか。 ・困った事があった時、寄り添える事が出来たか。 【英語科】・英語を通して多様な生活や文化を理解させることができたか。 【いじめ防止】・相談窓口の周知ができたか。迅速で適切な対応ができたか。 【教育サポート】・不登校や特別支援への理解が深まったか。	職員間で情報共有しながら、生徒の活動を注視深く見守った。また、学年通信やクラス通信を通じて細やかに情報発信をした。 職員で情報を共有しながらアンテナを高くして生徒の活動を見守った。また、各クラス、学年集会、学年通信で情報発信した。 3～5月までの休校により、当初のような進路への意識付けや環境作りを、物理的・時間的に充分行うことができなかったが、多くの先生方の協力によって、ある程度生徒の要望には応えることができた。 アンケートは長期休校により1回のみであったが、学級担任による面談や日常の生徒との関わりも通して生徒の状況を把握することができた。 「Withコロナ」の生活の中、直面する課題は多様だったが、概ね支援が出来た。 運動の合理的実践を通して生徒にわたって運動に親しみ能力を身に付けることができた。 ALTの授業や教科書に取り上げられた題材を通して世界の様々な生活や文化、人々の生き方に触れさせることができた。 長期休業前後のタイミングで校内外の相談窓口を周知し、担任からの声掛けを行った。生徒、保護者からの訴えに対して組織的な対応を行った。 自殺予防にかかる職員研修会とおしるSOSの受け止め方、支援の理解を深めることができた。必要に応じてSC、SSWと連携した指導により手厚い支援ができた。	A A B B B A A A	生徒間の交流が深まり、お互いを認め、尊重しあえるような機会を意識して設けたい。 クラスや学年で計画を立てる際に、生徒同士が認め合い支え合う場面を設定することを意識して立案していく。 引き続き生徒の状況を把握し、対応していく。 引き続き指導をしていきたい。 細かい指導をしていただいた。生徒の中に、きまをわかっていない、忘れていく人がいるようなので、徹底する場、確認する場を充実させてほしい。(衣替え、始業式など) 生徒支援室はとても居心地がいい。		
⑥ その他、上記にあてはまらないもの		具体的目標	評価項目	評価項目達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	評価	感想・意見・質問など
		【コンプライアンス委員会】・非遵行為防止に対する意識を高めるための職員研修を行う。非遵行為防止・対応マニュアルの確認を含めた活用を行う。 【ビジョン委員会】・3つの方針を通して、本校のあるべき姿を明確にし、魅力ある学校づくりを推進する	【コンプライアンス委員会】・職員研修の実施ができたか。非遵行為防止・対応マニュアルの確認、活用ができたか。 【ビジョン委員会】・3つの方針により、本校のあるべき姿を職員共の共通認識とすることができたか。	職員会のために非遵行為防止について、職員の意識の向上を図る話を校長より行った。事例検討による職員研修により、職員一人一人が自分のこととしてとらえることができた。 昨年度策定したグランドデザイン、3つの方針のブラッシュアップを行う予定であったが、十分にはできなかった。	B C	風通しの良い職場環境を心掛け、非遵行為防止への意識を高める。 毎年見直しにより、より本校の姿を示すことのできるものとしていく。	B	・本校の立ち位置がわからなかった。将来像を検討し、職員間で意識を共有することが大切だと感じています。